

清瀬市内大学合同プログラムが開催されました！

国立看護大学校では、清瀬市内にある日本社会事業大学と明治薬科大学と連携し、1, 2年生を対象としたIPE(専門職連携教育)を実施しました。3日間のプログラムでは、社会福祉学、薬学、そして看護学から人間のウェルビーイングを考える基礎を学ぶことを目的として、1日目は日本社会事業大学、2日目は国立看護大学校、3日目は明治薬科大学とそれぞれの大学で講義や演習が行われました。

最初は緊張していた学生たちも徐々に打ち解け、協力してグループワークなどに励んでいました。さらに、「楽しかった！参加してよかったです！」「新しい友達をつくることができました」「他職種の専門性をより理解することができました」などの感想が聞かれました。

7月31日(水)～8月2日(金)

7/31 日本社会事業大学

8/1 国立看護大学校

8/2 明治薬科大学

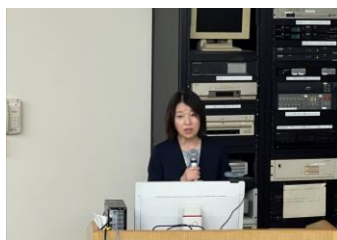
IPE(Interprofeshsional Education)とは



質の高い医療やサービスを提供するうえで、多職種による連携が不可欠です。IPEとは「専門職連携教育」の略であり、保健医療福祉分野の専門職を目指す学生が同じ場で学び、互いの役割や専門性を理解し、連携することの重要性を学ぶための教育を指します。



日本社会事業大学 横山学長



国立看護大学校 萱間大学校長



明治薬科大学 越前学長

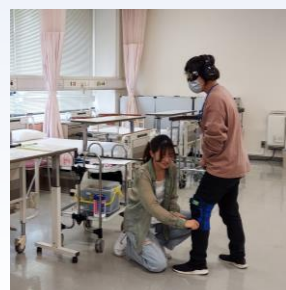
《1日目》

日本社会事業大学で、社会福祉の基礎と認知症患者のウェルビーイングについて講義を受けました。さらに、認知症患者の事例についてグループワークを行い、発表しました。それぞれの職種の役割を知る良い機会となりました。



《2日目》

国立看護大学校で、看護の基盤、看護に関する倫理や制度について講義を受けた後、演習やグループワークに取り組みました。高齢者疑似体験では、片麻痺の高齢者の援助にも挑戦しました。グループワークでは、チーム医療や対象者を中心に考えることについてディスカッションしました。



《3日目》

明治薬科大学では、高齢の認知症患者の事例に基づき、どうすれば在宅療養を継続できるかをKJ法を使って考え、発表しました。さらに、モデル薬局や資料館を見学し、貴重な薬学関連書物や生薬資料を見ることができました。

